

# 島根県の経済動向

平成23年8月分

統 第 1 0 6 号 の 7  
平成23年10月28日

政策企画局統計調査課

## —本県経済は、全体として横ばい傾向にある—

生産活動は横ばい圏内の動きとなっている。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	⇒	～横ばい圏内の動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は94.7となり、前年同月比は5.6%と6か月ぶりに前年を上回った。大口電力需要実績は3.7%と21か月連続で前年を上回った。生産活動は、横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	⇒	～持ち直しの動きが足踏み～	有効求人倍率は0.85倍と2か月ぶりに上昇し、新規求人数は9.9%と13か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は2か月ぶりに前年を下回り、きまって支給する給与は8か月連続で前年を下回った。雇用情勢は、厳しい状況のなか持ち直しの動きが足踏みしている。
個人消費	⇒	～持ち直しの動きが鈍化～	大型小売店販売額は▲4.1%と6か月連続で前年を下回り、ホームセンター販売額は▲2.6%と9か月ぶりに、家電量販店販売額は▲34.1%と4か月ぶりに前年を下回った。新車登録台数はエコカー補助金で伸びた前年の反動もあり▲26.1%となった。地デジ関連商品や省エネ関連商品の需要が一巡したことなどにより、個人消費は、持ち直しの動きが鈍化している。
投資動向	⇒	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は▲22.8%と2か月ぶりに前年を下回り、公共工事請負金額は▲11.9%と5か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数も▲30.6%と7か月ぶりに前年を下回った。投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	⇒	～倒産件数4件～	企業倒産件数は4件。うち建設業は1件、製造業は1件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年1.0%増～	銀行預金残高は38か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は12か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.4%上昇～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.2となり、対前年同月比0.4%と2か月連続の上昇となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成23年10月28日公表）		CI先行指数は83.2となり、4か月ぶりの下降となった。 CI一致指数は115.2となり、2か月ぶりの上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成23年9月12日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（23年7～9月期）は▲6.8%ポイントと「下降」超幅が縮小している。 〔先行きについては、翌期（10～12月期）に「上昇」超に転じ、翌々期（24年1～3月期）には「上昇」と「下降」が拮抗する見通しとなっている。〕

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	93.4	95.5	96.3	93.1	89.7	94.7
	〃（原指数）	▲3.5	▲2.1	▲1.7	▲4.4	▲5.1	5.6
	大口電力需要実績	2.9	3.1	3.2	3.8	0.9	3.7
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.84	0.83	0.82	0.85	0.83	0.85
	新規求人数	18.1	8.9	18.9	22.1	12.7	9.9
	常用労働者数	0.4	0.5	0.5	0.7	1.0	1.2
	現金給与総額	▲1.7	▲1.6	▲1.5	▲5.9	2.1	▲1.1
	きまって支給する給与	▲0.7	▲1.7	▲1.4	▲2.1	▲1.0	▲0.8
	所定外労働時間（製造業）	▲3.3	9.6	9.2	▲0.7	7.5	▲3.7
個人消費	大型小売店販売額	▲9.8	▲0.8	▲3.4	▲3.2	▲0.8	▲4.1
	ホームセンター販売額	7.2	2.0	3.6	6.4	2.2	▲2.6
	家電量販店販売額	▲4.3	▲1.6	8.6	23.6	10.4	▲34.1
	乗用車新車登録台数	▲31.5	▲46.6	▲28.2	▲9.8	▲18.3	▲26.1
	出雲空港利用者数	▲24.7	▲24.0	▲21.8	▲10.1	▲14.6	▲18.5
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	218.0	▲45.9	101.6	▲32.6	7.4	▲22.8
	公共工事請負金額	0.1	▲21.8	▲47.5	▲14.5	▲33.5	▲11.9
	新設住宅着工戸数	153.2	11.9	31.2	13.6	38.6	▲30.6
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	7	3	3	8	2	4
	* 負債総額（百万円）	943	276	332	1,027	97	376
金融情勢	銀行預金残高	2.3	3.3	1.0	1.5	1.7	1.7
	銀行貸出金残高	0.9	1.3	1.1	1.1	1.4	1.0
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	99.6	99.9	100.1	99.8	99.9	100.2
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	92.8	84.2	87.9	95.9	106.0	83.2
	* 景気動向指数（CI一致指数）	106.0	112.3	121.6	121.8	111.2	115.2

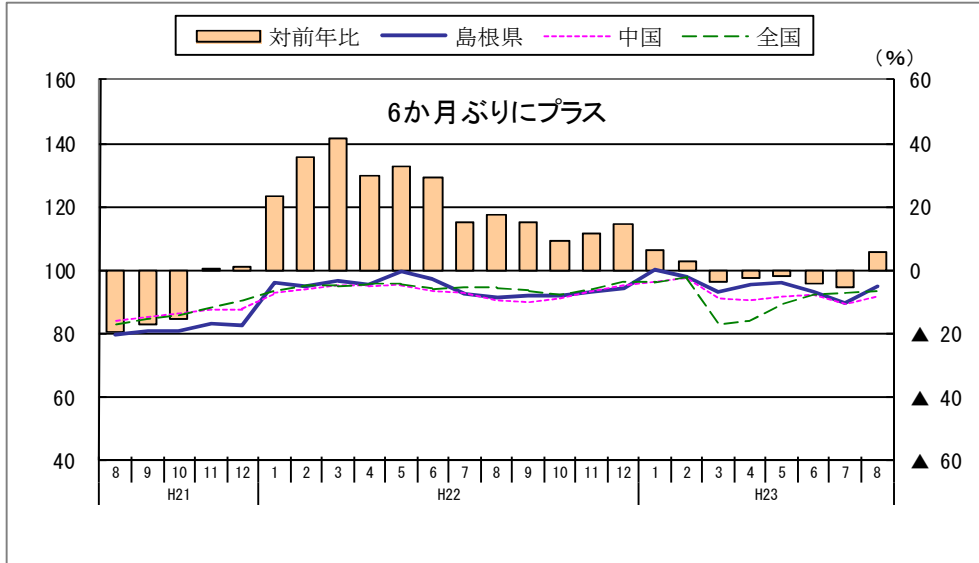
# 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」平成23年10月17日</p> <p>景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、引き続き持ち直しているものの、そのテンポは緩やかになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産は、持ち直しているものの、そのテンポは緩やかになっている。輸出は、横ばいとなっている。</li> <li>・ 企業収益は、減少している。設備投資は、下げ止まりつつある。</li> <li>・ 企業の業況判断は、改善している。ただし、中小企業においては先行きに慎重な見方となっている。</li> <li>・ 雇用情勢は、持ち直しの動きもみられるものの、東日本大震災の影響もあり依然として厳しい。</li> <li>・ 個人消費は、おおむね横ばいとなっている。</li> <li>・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。</li> </ul> <p>先行きについては、サプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。ただし、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、回復力の弱まっている海外景気が下振れた場合や為替レート・株価の変動等によっては、景気が下振れするリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>
	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成23年10月20日</p> <p>～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しの動き ～</p> <p>中国地域の経済は、個人消費は弱含みとなっているものの、生産は横ばい、設備投資が持ち直しの動きとなるなど、持ち直し基調で推移。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産動向…横ばい</li> <li>2. 景況感…持ち直しの動きに一服感</li> <li>3. 産業用電力需要…減少</li> <li>4. 物価…上昇傾向</li> <li>5. 個人消費…弱含み</li> <li>6. 設備投資…持ち直しの動き</li> <li>7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加</li> <li>8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き</li> <li>9. 企業倒産…件数は増加</li> <li>10. 貿易…輸出は一部に持ち直しの動き、輸入は増加</li> </ol>
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2011年10月3日</p> <p>山陰両県の景気は、持ち直しつつある。すなわち、震災の影響が薄らいできたことを背景に、企業の業況感は改善しており、生産、設備投資は、持ち直しつつある。住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。一方、個人消費は、駆け込み需要や夏季・節電対応商品の一巡等により、持ち直しの動きが鈍っている。公共投資は減少している。この間、雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産は、持ち直しつつある。</li> <li>・ 個人消費は、駆け込み需要や夏季・節電対応商品の一巡等により、持ち直しの動きが鈍っている。</li> <li>・ 設備投資は、持ち直しつつある。</li> <li>・ 公共投資は、減少している。</li> <li>・ 住宅投資は、引き続き水準は低いものの、持ち直しつつある。</li> <li>・ 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にある。</li> </ul>
	<p>「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2011年9月30日</p> <p>住宅建設は堅調に推移しており、設備投資も回復している。一方、公共投資は低迷が続き、生産は減速の兆しがみられ、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、低迷が続いている。</li> <li>・ 設備投資は、2011年度は製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画（企業動向調査9月）。</li> <li>・ 住宅建設は、堅調に推移している。</li> <li>・ 個人消費は、総じて低調な推移ながら、底入れの兆しがうかがえる。</li> <li>・ 生産は、業種間でばらつきがあるものの、減速の兆しがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、横ばい圏内での動きとなっている。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元（2011年度上期）、製造業、非製造業ともに悪化したことから、全産業で悪化となった（▲4.1→▲22.9）。先行き（2011年度下期）については、製造業、非製造業ともに改善を予想しており、全産業でも改善（▲22.9→▲6.5）の見通し（企業動向調査9月）。</li> </ul>
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成23年7月28日（四半期ごとに公表）</p> <p>東日本大震災の影響は和らいできており、上向きの動きがみられる。雇用情勢で、一部で緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている。一方、個人消費は、緩やかな持ち直しの動きがみられるほか、生産活動では、上向きの動きがみられるなど、震災の影響は和らいできている。また、23年度通期の設備投資が増加見通しとなり、企業収益も増益見通しとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 緩やかな持ち直しの動きがみられる</li> <li>・ 生産活動 上向きの動きがみられる</li> <li>・ 雇用情勢 一部で緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている</li> <li>・ 公共事業 前年度を下回っている</li> <li>・ 設備投資 23年度は増加見通し</li> <li>・ 企業収益 23年度は増益見通し</li> </ul>

# 経済指標の推移

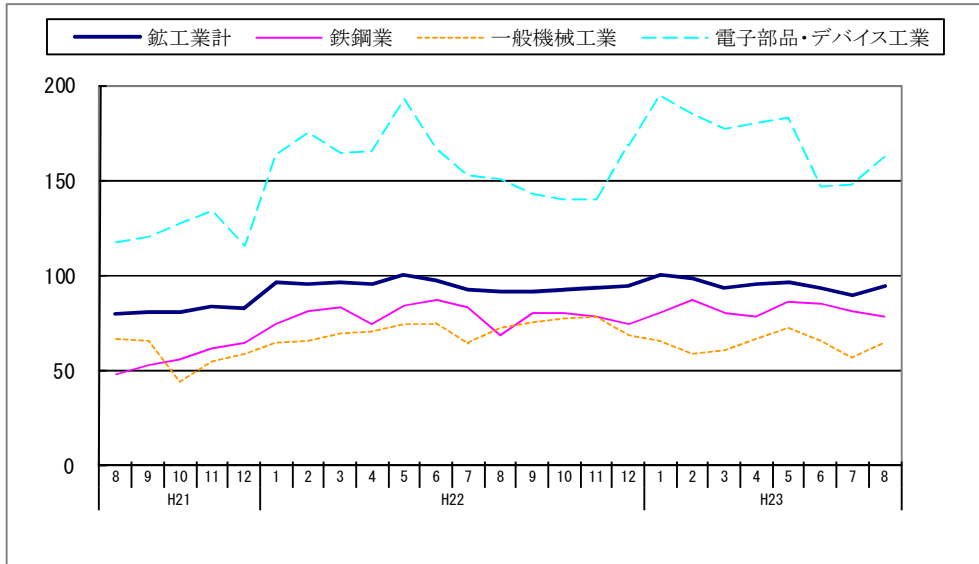
## 【 生産活動 】 ～横ばい圏内の動き～

鋳工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



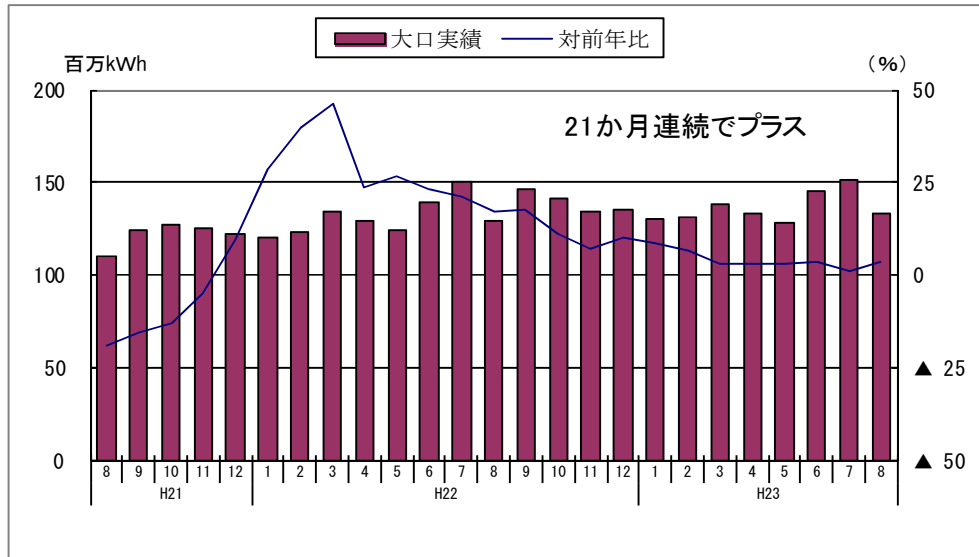
（注）対前年比は、島根県の前指数 （県統計調査課、経済産業省）

島根県鋳工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

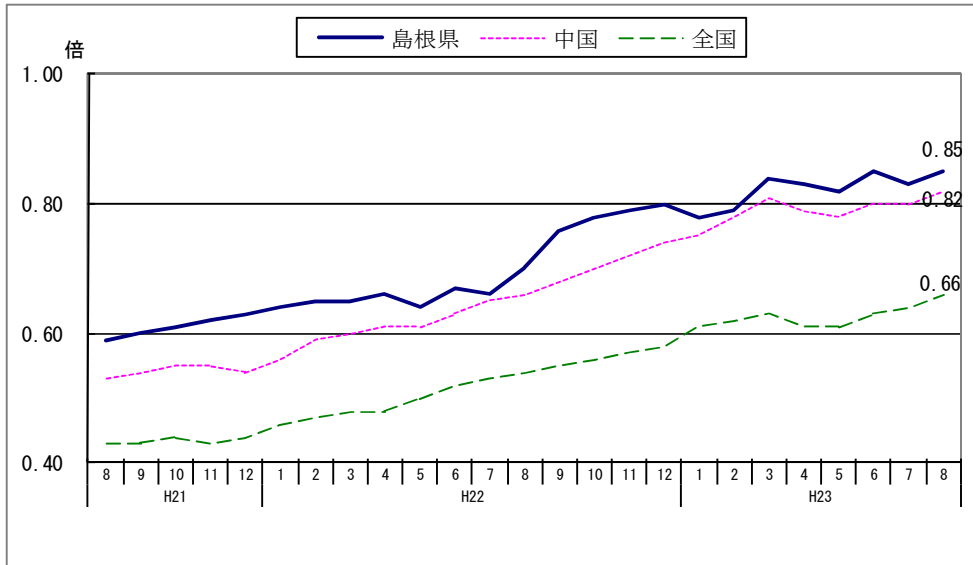
大口電力需要実績



（中国電力株）

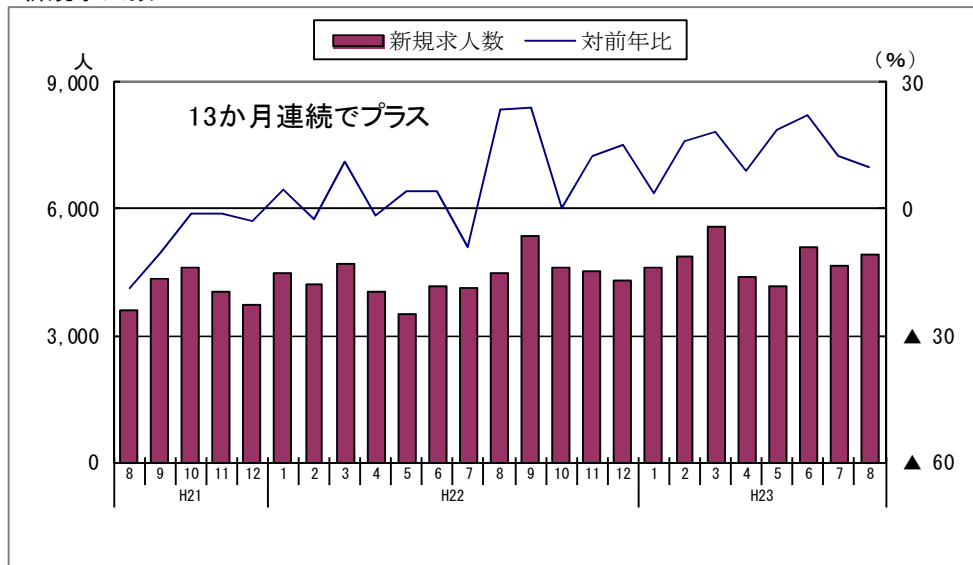
【雇用情勢】 ～持ち直しの動きが足踏み～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



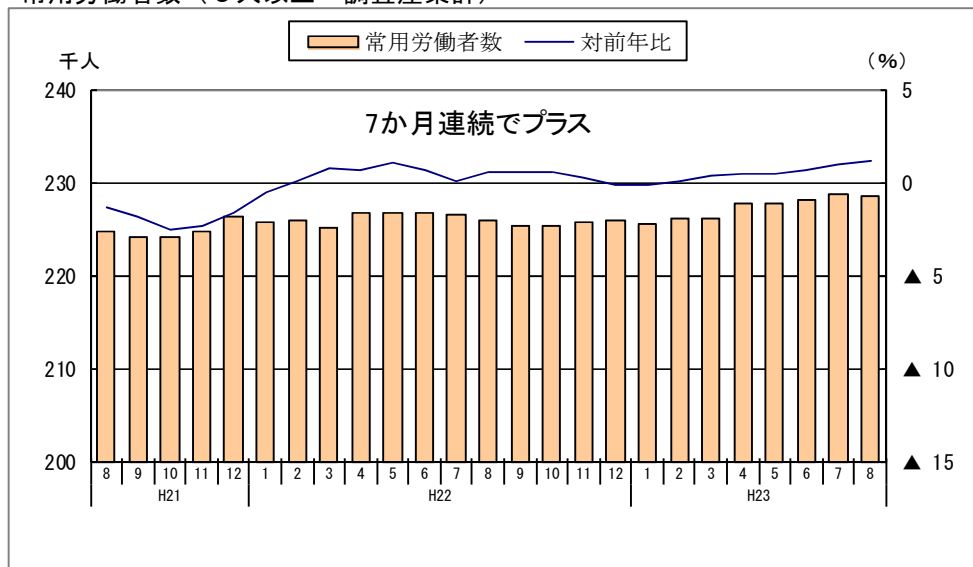
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

常用労働者数（5人以上・調査産業計）

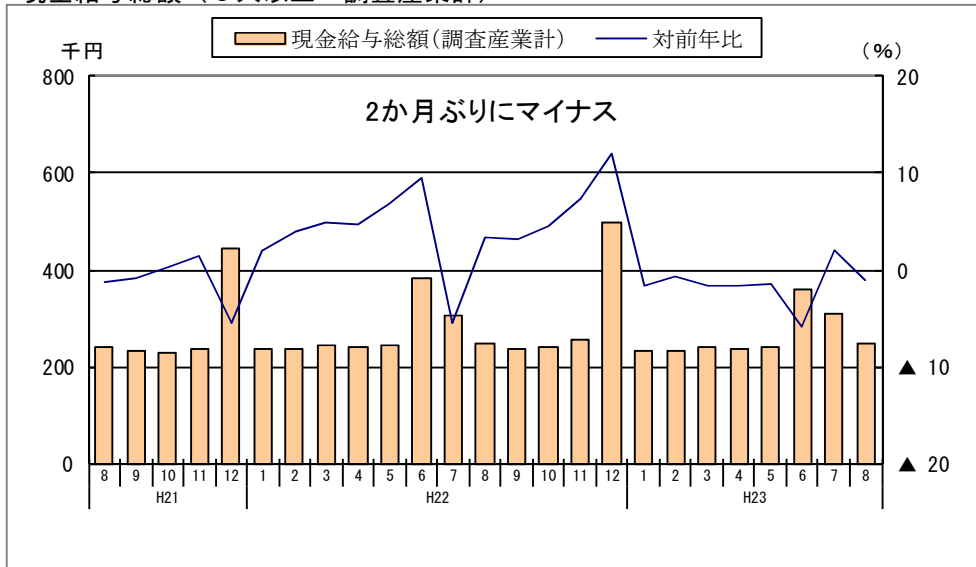


(県統計調査課)

## 【雇用情勢】

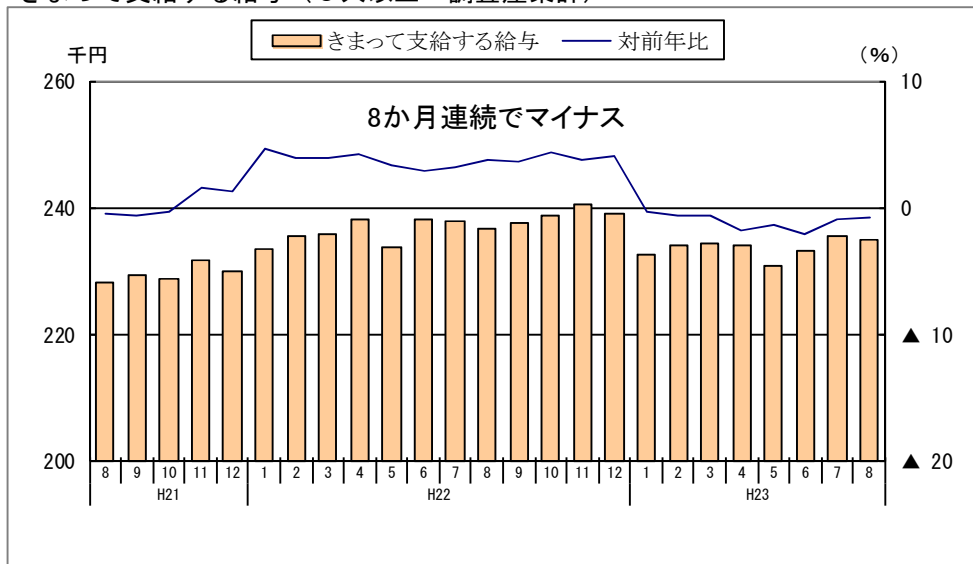
～持ち直しの動きが足踏み～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



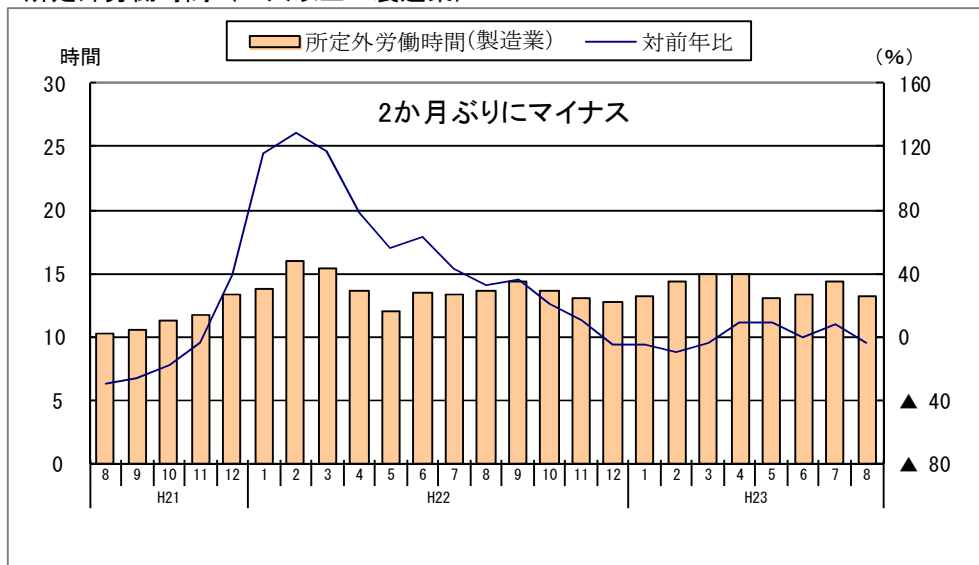
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

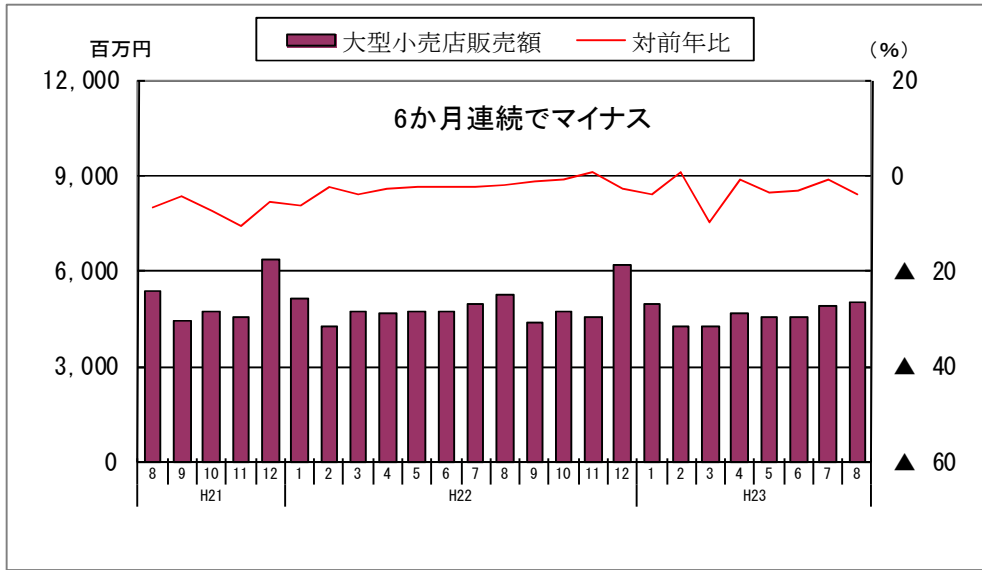
所定外労働時間（5人以上・製造業）



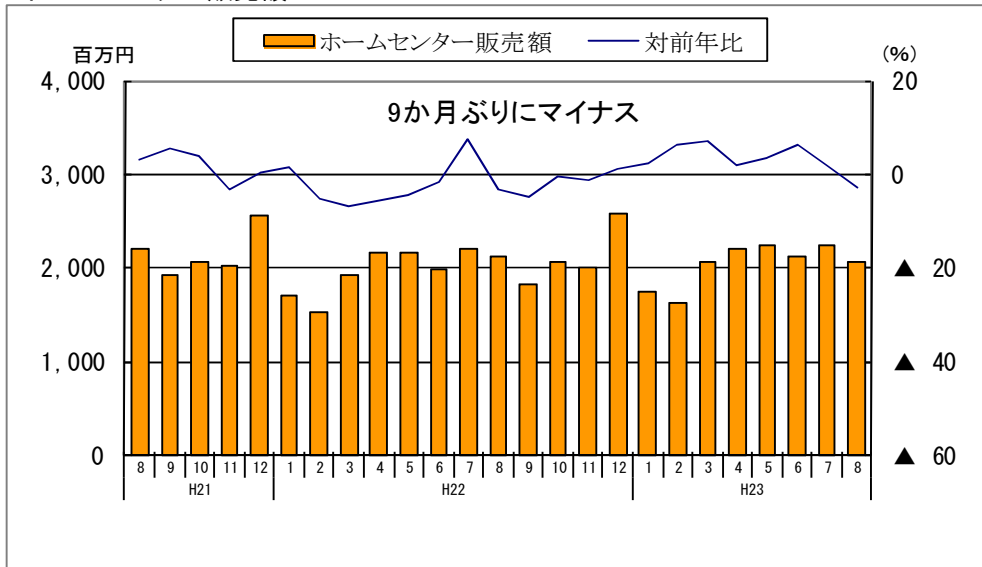
(県統計調査課)

【 個人消費 】 ～持ち直しの動きが鈍化～

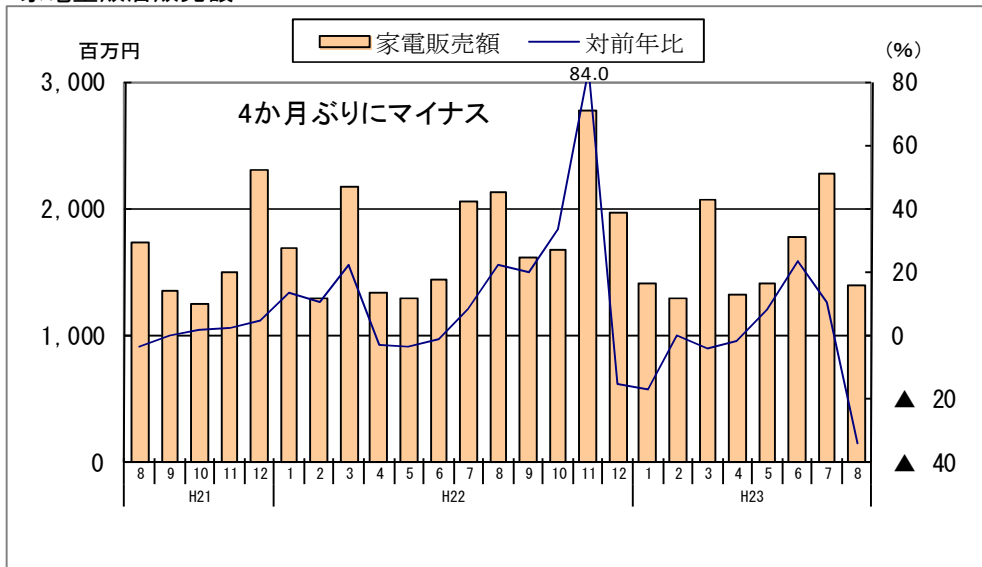
大型小売店販売額



ホームセンター販売額

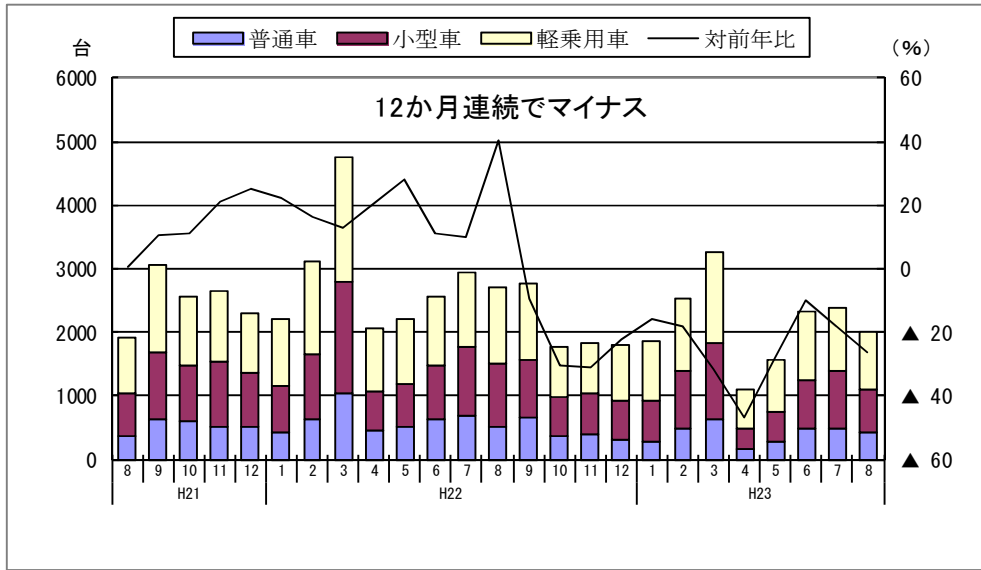


家電量販店販売額



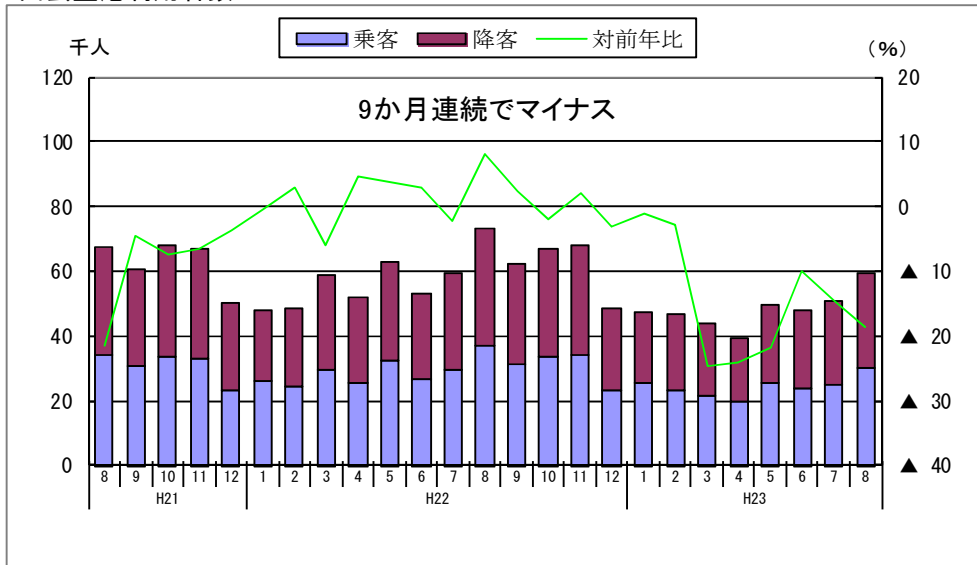
【 個人消費 】 ～持ち直しの動きが鈍化～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

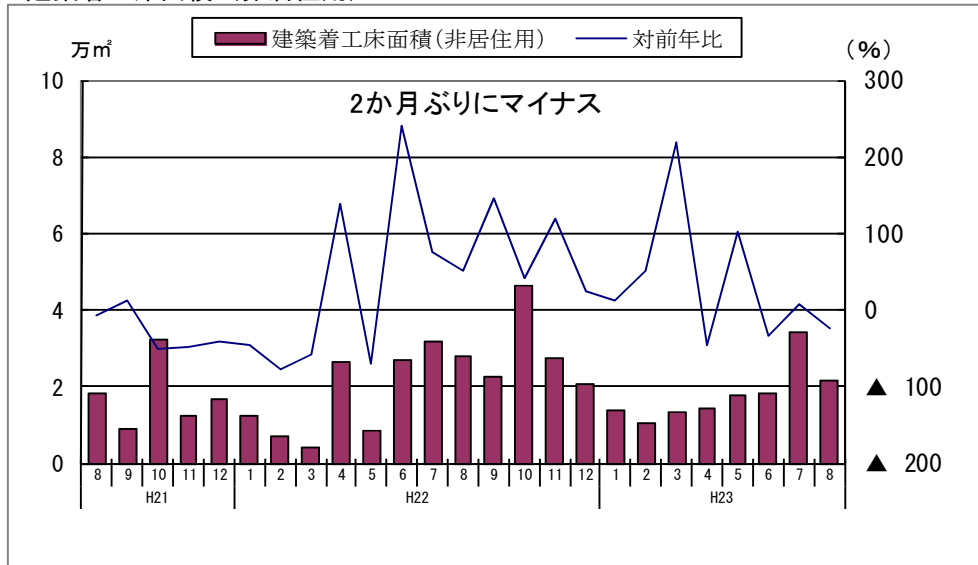
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

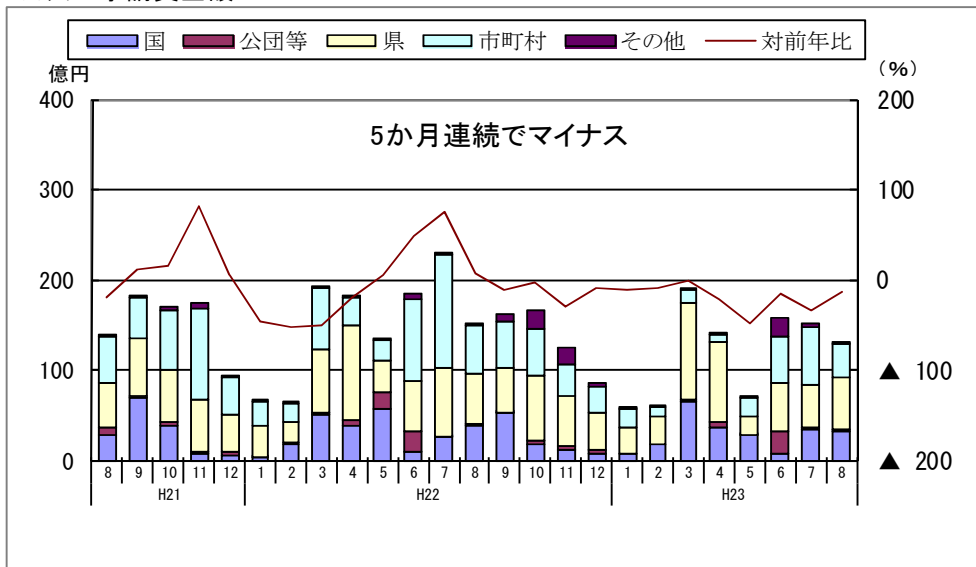
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



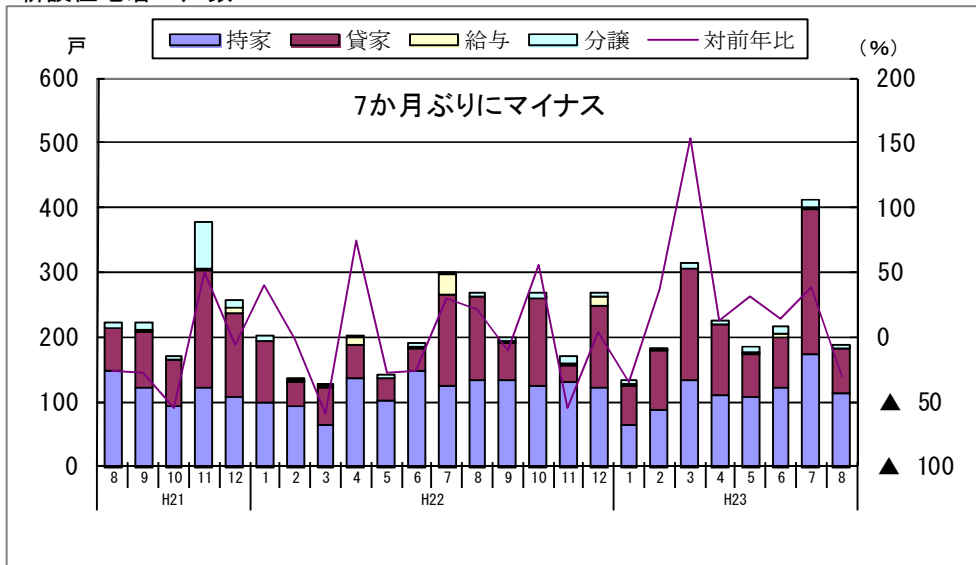
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

新設住宅着工戸数

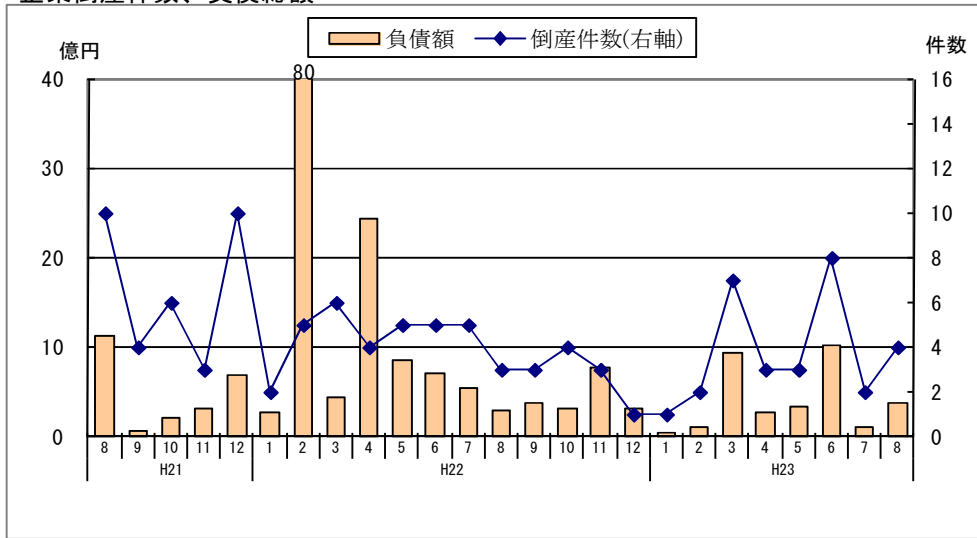


(国土交通省)



【 企業倒産 】 ～倒産件数 4 件～

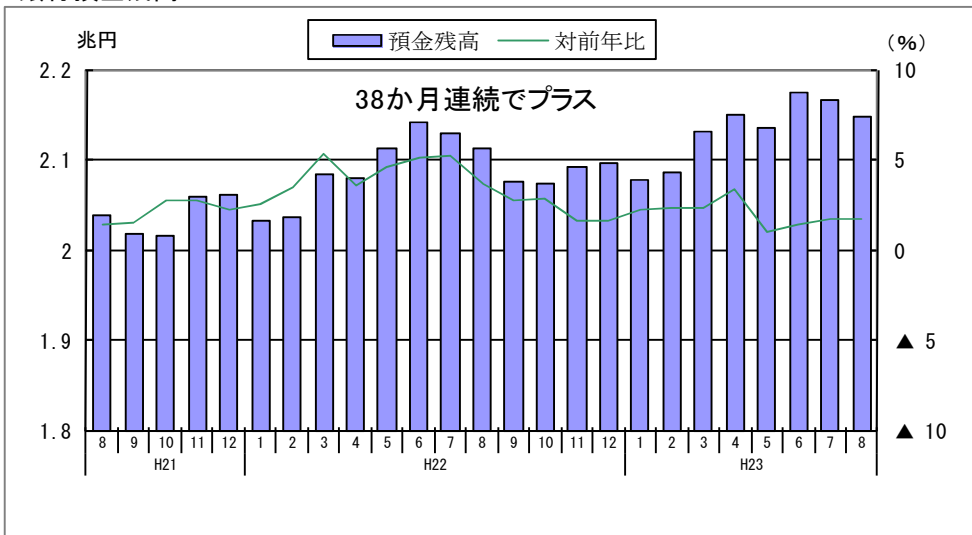
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

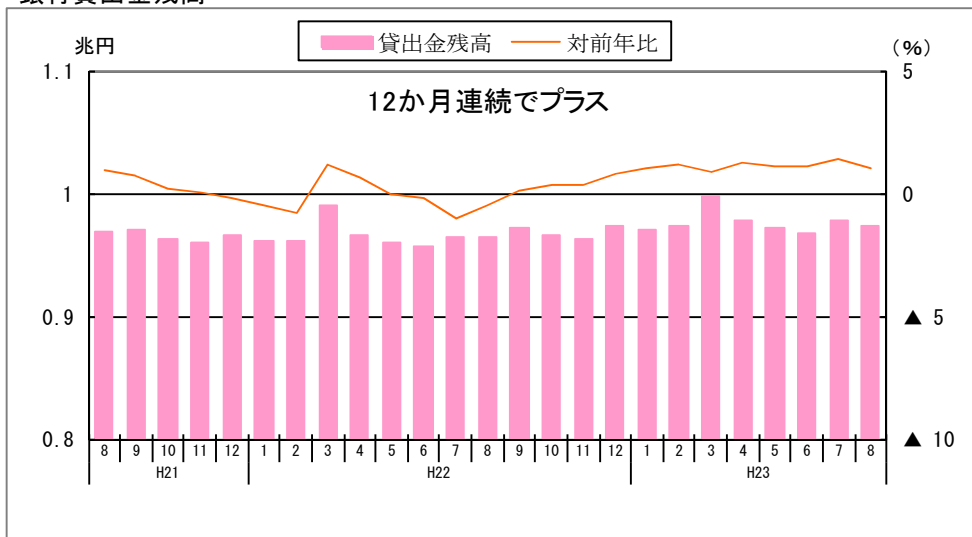
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年1.0%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

銀行貸出金残高

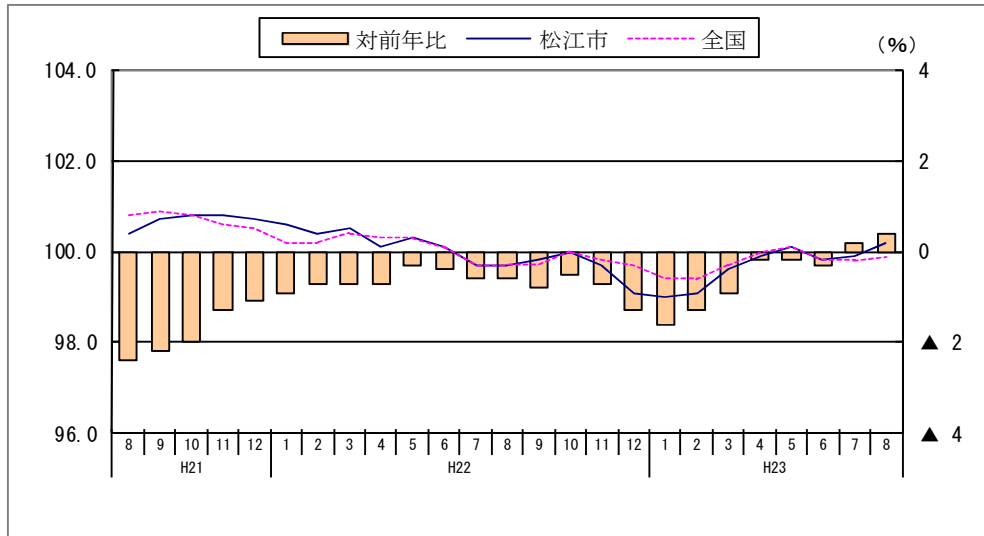


(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.4%上昇～

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

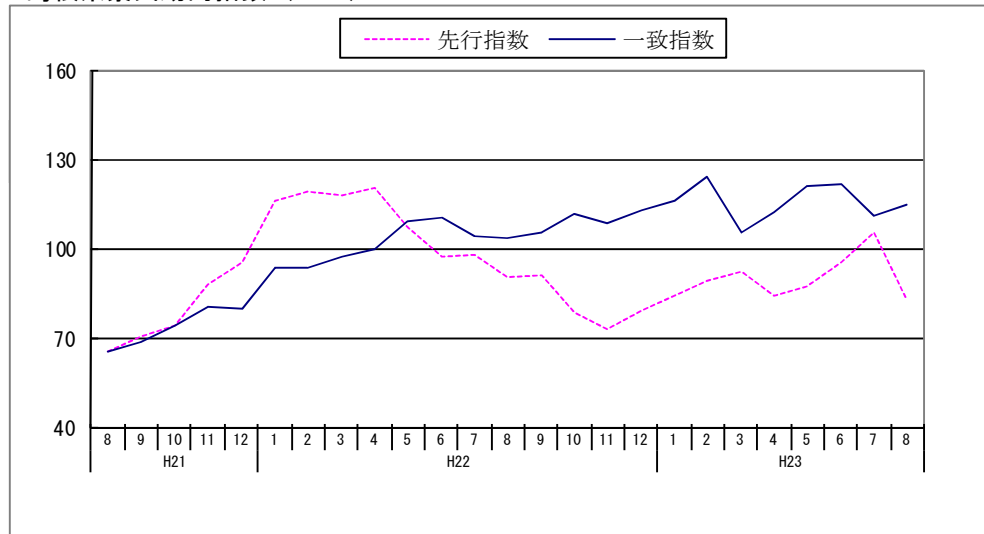
平成22年=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成23年9月12日 財務省松江財務事務所)  
平成23年 7～9 月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	23年4～6月 前回調査	23年7～9月 今回調査	23年10～12月 見 通 し	24年1～3月 見 通 し
全 産 業	▲ 26.9	( ▲6.7) ▲ 6.8	( 2.9) 1.9	0.0
製 造 業	▲ 30.3	( ▲6.1) 2.9	( 24.2) 17.6	▲ 2.9
非製造業	▲ 25.4	( ▲7.0) ▲ 11.6	( ▲7.0) ▲ 5.8	1.4
大 企 業	0.0	( ▲12.5) 0.0	( 12.5) ▲ 25.0	0.0
中堅企業	▲ 16.7	( 8.3) 11.1	( 11.1) 0.0	▲ 5.6
中小企業	▲ 36.7	( ▲15.0) ▲ 18.6	( ▲3.3) 6.8	3.4

※ ( ) 書きは、前回 (23年4～6月期) 調査時の見通し。